

平成15年1月30日

上場会社名 富士電機株式会社

コード番号 6504

代表者 取締役社長

沢 邦彦

問合せ責任者 財務計画室財務部長

松本 淳一

TEL 03-5435-7111(代表)

平成14年度 第3四半期 連結決算概要

(単位：百万円)

	第3四半期 (10月～12月)			9ヶ月累計 (4月～12月)		
	平成14年度	平成13年度	前年同期比 (%)	平成14年度	平成13年度	前年同期比 (%)
売上高	167,655	160,728	104	527,350	523,561	101
営業損益	10,373	13,278	-	20,036	25,078	-
経常損益	10,486	11,346	-	22,387	23,974	-
当期純損益	307	8,323	-	12,603	18,295	-
1株当り 当期純損益	44銭	11円64銭	-	17円73銭	25円58銭	-

(注1) 14年度第3四半期の連結子会社数は58社 (13年度第3四半期 60社)

(注2) 財務数値については監査対象外

比較連結損益計算書

【第3四半期】

(単位：百万円)

	14年度第3四半期 (14年10月～14年12月)		13年度第3四半期 (13年10月～13年12月)		増 減	前年同期比 (%)
		構成比(%)		構成比(%)		
売上高	167,655	100.0	160,728	100.0	6,927	104.3
売上原価	140,085	83.6	135,025	84.0	5,060	103.7
売上総利益	27,569	16.4	25,703	16.0	1,866	107.3
販売費及び一般管理費	37,943	22.6	38,982	24.3	1,039	97.3
営業損益	10,373	6.2	13,278	8.3	2,905	-
営業外収益	869	0.5	2,821	1.8	1,952	30.8
(受取利息・配当金)	(387)		(1,013)		(626)	
(雑収益)	(481)		(1,807)		(1,326)	
営業外費用	982	0.6	888	0.6	94	110.6
(支払利息)	(698)		(616)		(82)	
(雑支出)	(283)		(272)		(11)	
経常損益	10,486	6.3	11,346	7.1	860	-
特別利益	12,690		122		12,568	
特別損失	1,746		2,171		425	
税金等調整前当期純損益	457	0.3	13,394	8.3	13,851	-
法人税等	961		4,322		5,283	
少数株主利益	196		748		552	
当期純損益	307	0.2	8,323	5.2	8,016	-

比較連結損益計算書

【9ヶ月累計】

(単位：百万円)

	14年度9ヶ月累計 (14年4月～14年12月)		13年度9ヶ月累計 (13年4月～13年12月)		増 減	前年同期比 (%)
		構成比(%)		構成比(%)		
売上高	527,350	100.0	523,561	100.0	3,789	100.7
売上原価	433,691	82.2	430,648	82.3	3,043	100.7
売上総利益	93,659	17.8	92,913	17.7	746	100.8
販売費及び一般管理費	113,695	21.6	117,992	22.5	4,297	96.4
営業損益	20,036	3.8	25,078	4.8	5,042	-
営業外収益	3,563	0.7	6,536	1.2	2,973	54.5
(受取利息・配当金)	(1,709)		(3,261)		(1,552)	
(雑収益)	(1,853)		(3,275)		(1,422)	
営業外費用	5,913	1.1	5,431	1.0	482	108.9
(支払利息)	(2,881)		(3,226)		(345)	
(雑支出)	(3,032)		(2,205)		(827)	
経常損益	22,387	4.2	23,974	4.6	1,587	-
特別利益	26,173		14,023		12,150	
特別損失	25,210		17,108		8,102	
税金等調整前当期純損益	21,424	4.1	27,059	5.2	5,635	-
法人税等	8,321		7,422		899	
少数株主利益	499		1,342		843	
当期純損益	12,603	2.4	18,295	3.5	5,692	-

比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

	14年度第3四半期末 (14年12月31日)		14年度上半期末 (14年9月30日)		増 減	13年度末 (14年3月31日)	
		構成比(%)		構成比(%)			構成比(%)
(資産の部)							
流動資産	483,077	51.8	458,779	48.8	24,298	511,981	46.3
現金及び預金	23,962		16,747		7,215	38,543	
受取手形及び売掛金	184,250		206,317		22,067	277,156	
有価証券	5,590		5,849		259	1,952	
棚卸資産	192,320		171,931		20,389	145,453	
その他	76,952		57,933		19,019	48,875	
固定資産	449,970	48.2	481,545	51.2	31,575	592,749	53.7
有形固定資産	196,259		205,263		9,004	204,765	
無形固定資産	10,517		10,659		142	6,984	
投資その他の資産	243,194		265,622		22,428	380,998	
繰延資産	319	0.0	204	0.0	115	140	0.0
資産合計	933,367	100.0	940,530	100.0	7,163	1,104,871	100.0
(負債の部)							
流動負債	575,003	61.6	570,296	60.6	4,707	613,631	55.5
支払手形及び買掛金	141,926		132,099		9,827	170,837	
短期借入金	171,096		178,273		7,177	182,965	
その他	261,980		259,923		2,057	259,828	
固定負債	184,041	19.7	170,969	18.2	13,072	211,141	19.1
負債合計	759,045	81.3	741,265	78.8	17,780	824,773	74.6
(少数株主持分)							
少数株主持分	31,833	3.4	32,254	3.4	421	32,048	2.9
(資本の部)							
資本金	47,586		47,586		0	47,586	
資本剰余金	38,397		38,397		0	38,397	
利益剰余金	52,762		54,846		2,084	68,189	
その他有価証券評価差額金	10,337		29,573		19,236	95,493	
為替換算調整勘定	2,364		2,127		237	1,604	
自己株式	4,231		1,266		2,965	12	
資本合計	142,489	15.3	167,010	17.8	24,521	248,049	22.5
負債、少数株主持分及び資本合計	933,367	100.0	940,530	100.0	7,163	1,104,871	100.0
金融債務残高	469,000	50.2	450,854	47.9	18,146	460,121	41.6

比較連結キャッシュ・フロー計算書

【第3四半期】

(単位：百万円)

科 目	期 別	14年度第3四半期 (14年10月～12月)	13年度第3四半期 (13年10月～12月)	増 減
		金 額	金 額	金 額
・営業活動によるキャッシュ・フロー		6,045	26,877	20,832
・投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の取得による支出		4,844	9,229	4,385
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の売却による収入		691	2,906	2,215
そ の 他		149	1,815	1,964
計		4,302	4,506	204
(フリー・キャッシュ・フロー +)		(10,347)	(31,384)	(21,037)
・財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金 の 純 減 額		1,358	36,497	35,139
コマーシャルペーパーの純増減額		1,000	40,000	41,000
長期借入れ及び社債の発行		27,290	23,900	3,390
長期借入金 の 返 済		2,208	2,562	354
そ の 他		5,010	2,052	2,958
計		17,712	22,787	5,075
・現金及び現金同等物に係る換算差額		140	98	238
・現金及び現金同等物の増減額 (+ + +)		7,224	8,498	15,722
・現金及び現金同等物の期首残高		16,088	38,919	22,831
・連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の減少額		9	-	9
・現金及び現金同等物の期末残高		23,303	30,421	7,118

比較連結キャッシュ・フロー計算書

【9ヶ月累計】

(単位：百万円)

科 目	期 別	14年度9ヶ月累計 (14年4月～12月)	13年度9ヶ月累計 (13年4月～12月)	増 減
		金 額	金 額	金 額
. 営業活動によるキャッシュ・フロー		16,149	3,571	19,720
. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の取得による支出		18,251	36,561	18,310
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の売却による収入		4,242	5,378	1,136
その他の		2,101	1,954	147
計		16,109	33,137	17,028
(フリー・キャッシュ・フロー +)		(39)	(36,708)	(36,747)
. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純減額		26,153	51,376	25,223
コマーシャルペーパーの純増減額		7,000	59,000	66,000
長期借入れ及び社債の発行		54,690	44,350	10,340
長期借入金の返済及び社債の償還		28,268	29,885	1,617
その他の		8,505	6,766	1,739
計		15,236	15,322	30,558
. 現金及び現金同等物に係る換算差額		460	16	476
. 現金及び現金同等物の減少額 (+ + +)		15,658	21,368	5,710
. 現金及び現金同等物の期首残高		38,109	51,760	13,651
. 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額		852	30	822
. 現金及び現金同等物の期末残高		23,303	30,421	7,118

セグメント情報

【第3四半期】

(単位：百万円)

		14年度第3四半期		13年度第3四半期		前年同期比 (%)
		(14年10月～14年12月)	構成比(%)	(13年10月～13年12月)	構成比(%)	
部 門 別 売 上 高	電機システム	59,187	33	63,920	37	93
	機器・制御	39,954	22	36,077	21	111
	電 子	31,737	17	29,236	17	109
	流通機器システム	33,685	19	28,431	16	118
	そ の 他	15,941	9	15,713	9	101
	小 計	180,506	100	173,379	100	104
	消 去	12,851	-	12,650	-	-
	合 計	167,655	-	160,728	-	104
部 門 別 営 業 損 益	電機システム	8,260	-	8,178	-	-
	機器・制御	154	-	2,742	-	-
	電 子	709	-	434	-	-
	流通機器システム	2,906	-	1,670	-	-
	そ の 他	263	-	217	-	-
	小 計	10,347	100	13,243	100	-
	消去又は全社	25	-	35	-	-
	合 計	10,373	-	13,278	-	-

セグメント情報

【9ヶ月累計】

(単位：百万円)

		14年度9ヶ月累計		13年度9ヶ月累計		前年同期比 (%)
		(14年4月～14年12月)	構成比(%)	(13年4月～13年12月)	構成比(%)	
部 門 別 売 上 高	電機システム	198,802	35	207,195	37	96
	機器・制御	113,063	20	115,982	21	97
	電子	91,597	16	94,482	17	97
	流通機器システム	114,708	20	97,364	17	118
	その他	50,028	9	49,049	8	102
	小計	568,201	100	564,075	100	101
	消去	40,850	-	40,513	-	-
	合計	527,350	-	523,561	-	101
部 門 別 営 業 損 益	電機システム	22,687	-	21,733	-	-
	機器・制御	1,938	-	4,705	-	-
	電子	5,123	-	1,220	-	420
	流通機器システム	1,383	-	183	-	-
	その他	919	-	14	-	6,564
	小計	19,966	100	25,020	100	-
	消去又は全社	70	-	58	-	-
	合計	20,036	-	25,078	-	-

平成 14 年度第 3 四半期の連結業績概況

当第 3 四半期における日本経済は、民間設備投資や個人消費の低迷が続くなか、全体として下げ止まっているものの、米国経済の回復遅れや不安定な世界情勢等、先行き不透明感の強い状況が続きました。

このような環境の下、当社グループの状況は、「電機システム」部門は、民間設備投資の低迷や公共事業費の削減などの影響を受け、非常に厳しい環境が続きました。「機器・制御」部門は、国内市況は依然低迷する一方、中国、アジアを中心とした需要が好調でした。「電子」部門は、電子デバイス分野が産業分野向けおよび自動車電装向けを中心として、前年同期に比べ伸長しました。「流通機器システム」部門は、自動販売機業界において市場が低迷しており、非常に厳しい環境が続きました。以上により、当第 3 四半期の連結売上高は、前年同期比 4.3%増の 1,676 億円となりました。

損益は、経費削減、および変電事業の会社分割に伴う営業移転利益（126 億円）などにより好転し、営業損益は 103 億 73 百万円（対前年同期 +29 億 5 百万円）、経常損益は 104 億 86 百万円（同 +8 億 60 百万円）、当期純損益は 3 億 7 百万円（同 +80 億 16 百万円）となりました。

部門別の概況は以下のとおりです。

< 電機システム >

環境・情報システム分野では、環境システムは、官公庁向けシステムの売上減に加え、水処理システムでの市場規模の縮小、および地方自治体を中心とする公共事業費の削減による影響を大きく受けた結果、前年同期を大幅に下回りました。情報システムは、電子行政・自治体情報システムにおいて売上増となりましたが、民間設備投資低迷の影響を受け、製造業等向け情報システムの売上が減少した結果、前年同期並となりました。

発電・変電分野では、放射線管理設備向けシステムが売上増に貢献しましたが、国内電力各社の設備投資抑制の影響により、前年同期を大幅に下回りました。

電機・交通システム分野では、民間設備投資低迷の影響を大きく受け、産業プラントシステム事業の売上が減少したことに加え、交通システム分野の売上も減少したことにより、前年同期を下回りました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比 7.4%減の 591 億円、営業損益は対前年同期 82 百万円悪化の 82 億 60 百万円となりました。

< 機器・制御 >

アメリカおよびアジアへの輸出主導による牽引を受け、鉱工業生産指数の動向は緩やかな上昇傾向にありましたが、国内市況は依然として冷え込んでおり、厳しい市場環境が続きました。

電源・機器分野は、当部門に關係の深い工作機械、受配電盤メーカ向け機器類は需要に力強さが見えなかったものの、半導体製造装置、産業ロボット、射出成形機などの業種に明るい兆しが見え始め、また、比較的好調の中国、アジアを中心とした需要増に支えられて、前年同期を上回りました。

システム機器分野も、国内市場は依然として厳しい環境が続きましたが、サーボシステム、

プログラマブル操作表示器（POD）の新製品効果に加え、中国を中心としたインバータ需要の急速な回復により、前年同期を大幅に上回りました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比 10.7%増の 399 億円、営業損益は対前年同期 25 億 88 百万円好転の 1 億 54 百万円となりました。

< 電子 >

電子デバイス分野では、パワー半導体は、パソコンやテレビなどの情報機器・映像機器向けは前年同期並でしたが、産業分野向けが IGBT を中心に前年同期を大幅に上回りました。また自動車電装向けも好調に推移しました。IC は、デジタルカメラ、ゲーム機器向けを中心に電源用 IC が大幅に伸長し、プラズマディスプレイ用高耐圧 IC、および自動車用の複合デバイス、圧力センサーも引き続き好調に推移しました。

情報機器関連分野の磁気記録媒体は、従来からの 40GB 製品の生産・出荷に加えて、80GB 製品の市場投入と本格量産化、およびアルミ基板の外販拡大により、前年同期を上回りました。感光体は、複写機およびプリンタ用の OPC（有機感光体）、ならびに感光体周辺機器などが前年同期並となりました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比 8.6%増の 317 億円、営業利益は対前年同期 11 億 43 百万円好転の 7 億 9 百万円となりました。

< 流通機器システム >

自販機・特機分野では、当部門の主要機種である自動販売機は、平成 14 年 4 月 1 日付で三洋電機自販機(株)を事業統合（新社名は吹上富士自販機(株)）したことにより、売上は前年同期に比べ大きく伸長しましたが、業界全体として自動販売機の出荷台数が前年を大きく下回るとともに、価格競争が一層激化するなど、厳しい状況が続きました。冷凍・冷蔵ショーケースは、スーパーマーケット向け市場が回復し、また、コンビニエンスストア向け市場も大手チェーンの新規エリアへの出店需要により前年同期を上回りました。

通貨関連機器分野は、金銭処理システムの伸長等もあり、前年同期並となりました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比 18.5%増の 336 億円、営業利益は対前年同期 12 億 36 百万円悪化の 29 億 6 百万円となりました。

< その他 >

当部門の売上高は前年同期比 1.5%増の 159 億円となり、営業利益は対前年同期 4 億 80 百万円好転の 2 億 63 百万円となりました。

以 上

平成14年度 第3四半期 連結決算補足説明資料

(単位：億円)

1. 決算概要

	平成14年度				平成13年度		
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期	通 期	
	前年同期比		前年同期比			前年同期比	
売上高	1,676	104.3%	8,300	98.9%	1,607	8,391	94.2%
営業利益	103	-	130	173.6%	132	74	29.9%
経常利益	104	-	80	138.1%	113	57	25.7%
当期純利益	3	-	20	-	83	32	-

2. 連結子会社数

	平成14年度		平成13年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通 期
連結子会社数	58	58	60	60

3. 一株当り当期純利益

	平成14年度		平成13年度	
	第3四半期実績	通期予想	第3四半期	通 期
一株当り当期純利益(円)	0.44	2.83	11.64	4.50

4. 部門別売上高

	平成14年度				平成13年度		
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期	通 期	
	前年同期比		前年同期比			前年同期比	
電機システム	591	92.6%	3,850	93.1%	639	4,135	100.0%
機器・制御	399	110.7%	1,600	100.6%	360	1,591	81.0%
電子	317	108.6%	1,250	97.3%	292	1,284	93.1%
流通機器システム	336	118.5%	1,550	119.6%	284	1,295	90.6%
その他	159	101.5%	750	99.7%	157	752	95.9%
小計	1,805	104.1%	9,000	99.3%	1,733	9,058	93.4%
消去	128	-	700	-	126	667	-
合計	1,676	104.3%	8,300	98.9%	1,607	8,391	94.2%

(注) 各部門の売上高には、部門間の内部売上高を含めて表示しています。

5. 部門別営業利益

	平成14年度				平成13年度		
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期	通 期	
	前年同期比		前年同期比			前年同期比	
電機システム	82	-	20	61.8%	81	32	43.1%
機器・制御	1	-	15	-	27	33	-
電子	7	-	70	155.6%	4	45	75.8%
流通機器システム	29	-	10	40.0%	16	25	66.2%
その他	2	-	15	290.1%	2	5	21.3%
小計	103	-	130	175.8%	132	74	29.6%
消去又は全社	0	-	0	-	0	0	-
合計	103	-	130	173.6%	132	74	29.9%

6. 研究開発費

	平成14年度				平成13年度		
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期	通 期	
		前年同期比		前年同期比			前年同期比
電機システム	22	118.4%	94	91.3%	19	103	105.6%
機器・制御	9	100.2%	30	84.3%	9	35	121.0%
電 子	20	104.2%	78	105.1%	19	75	94.5%
流通機器システム	7	84.0%	28	95.0%	9	30	112.7%
そ の 他	0	-	0	-	0	0	-
全社（基礎研究等）	4	24.6%	44	126.6%	17	35	99.4%
合 計	63	85.7%	277	99.0%	74	280	103.9%
対売上高比率（%）	3.8%	-	3.3%	-	4.6%	3.3%	-

7. 設備投資額、減価償却費

	平成14年度				平成13年度		
	第3四半期実績		通期予想		第3四半期	通 期	
		前年同期比		前年同期比			前年同期比
電機システム	6	36.7%	47	69.5%	18	68	90.3%
機器・制御	7	86.6%	48	87.7%	8	55	104.5%
電 子	31	84.4%	188	134.7%	37	140	104.3%
流通機器システム	17	64.7%	60	84.3%	27	72	114.8%
そ の 他	3	316.7%	12	88.3%	1	14	91.8%
全社（共通）	0	-	0	-	0	0	-
設備投資額合計	66	72.5%	358	102.2%	92	351	102.6%
内リース取得	37	116.1%	196	191.6%	32	102	97.6%

減 価 償 却 費	69	131.5%	268	94.3%	52	284	91.6%
-----------	----	--------	-----	-------	----	-----	-------

（注1）設備投資額は、有形固定資産への投資額とリース契約による取得額の合計値です。

（注2）減価償却費は有形固定資産の減価償却費です。

8. 期末従業員数（定期社員除く）

	平成14年度		平成13年度	
	14年12月末	15年3月末予想	13年12月末	14年3月末
電機システム	10,369	10,283	9,801	9,522
機器・制御	5,480	5,446	5,711	5,263
電 子	4,181	4,146	4,555	4,190
流通機器システム	3,255	3,257	2,663	2,628
そ の 他	2,086	2,072	2,212	2,116
本 部（共通）	759	767	834	786
合 計	26,130	25,971	25,776	24,505